

KURUME CAN DO LIST(R4) 普通科

	学年	1年(1学期)	1年(2学期)	1年(3学期)	2年(前半)	2年(後半)	3年(前半)	3年(後半)
	英検	準2級	準2級	準2級	準2級	2級	2級	2級・準1級
	レベル	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2
聞くこと	日常	当人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、「立て」「座れ」「止まれ」といった短い簡単な指示を理解することができる。	趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や自分の家族・学校・地域などの身の回りの事柄に関連した句や表現を理解することができる。	ゆっくりはっきりと放送されれば、公共の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンスを理解することができる。	スポーツ・料理などの一連の行動を、ゆっくりはっきりと指示されれば、指示通りに行動することができる。	外国の行事や習慣などに関する説明の概要を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	自然な速さの録音や放送(天気予報や空港のアナウンスなど)を聞いて、自分に關心のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる。
	教室	教科書のCDを、自然な音調で聞き、内容が理解できる。	英文の内容に関して、教師が英語で質問するのを聞き取ることができる。	ある程度まとまった量の英語を聞いて、重要な部分を書きとめて、まとめることができる。	スピーチや会話などではっきりと話されれば、話し手の意図や内容を的確に把握できる。	短いモノログやダイアログをナチュラルスピードで聞いて、話し手の意図や内容を的確に把握できる。	自分の周りで話されている少し長めの議論でも、はっきりとなじみのある発音であれば、その要点を理解することができる。	環境問題など社会性の高い幅広い内容を理解することができる。テレビやラジオの政治・経済的なニュースを理解することができる。いろいろな種類のドラマや映画の内容を理解することができる。
	レベル	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2
読むこと	日常	「駐車禁止」、「飲食禁止」等の日常生活で使われる非常に短い簡単な指示を読み、理解することができる。	簡単なポスターや招待状等の日常生活で使われる非常に短い簡単な文章を読み、理解することができる。	簡単な語を用いて書かれた、スポーツ・音楽・旅行など個人的な興味のあるトピックに関する文章を、イラストや写真も参考にしながら理解することができる。	簡単な語を用いて書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの、説明文を理解することができる。	簡単な英語で表現されていれば、旅行ガイドブック、レシピなど実用的・具体的で内容が予想できるものから必要な情報を採り理解することができる。	1つのパラグラフ(段落)において、主題文(段落の主題を伝える文)と支持文(主題文を支える例など)を区別することができる。	インターネットや参考図書などを調べて、文章の構成を意識しながら、学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。必要であれば辞書を用いて、図表等の資料と関連づけながら理解することができる。
	教室	教科書の英文にスラッシュをいれて、内容をほぼ理解できる。	教科書の本文を、日本語に訳しながらであれば、内容を理解できる。	教科書の本文を読んで、内容の大筋(出来事のかながら)を理解できる。	教科書の英文を辞書を使いながら読み、キーワードや要点を把握することができる。	教科書の英文をディスコースマーカ―に注意を払うことで、各段落の要旨をよりの確に把握することができる。	まとまりのある説明文を理解したり、実用的な文章から必要な情報を得たりすることができる。	英文の種類や読む目的に応じて、適切に読みこなすことができる。まとまった量の英文の要点を理解することができる。
	レベル	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2
話すこと(やりとり)	日常	なじみのある定型表現を使って、時間・日にち・場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。	英文の内容に関する英問英答においてYes/No以外で答えることができる。	趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。	順序を表す表現であるfirst, then, nextなどのつなぎ言葉や「右に曲がって」や「まっすぐ行って」などの基本的な表現を使って、単純な道案内をすることができる。	簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を較べたりすることができる。	身近なトピック(学校・趣味・将来の希望)について、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる。	病院や市役所といった場所において、詳細にまた自信を持って、問題を説明することができる。関連する詳細な情報を提供して、その結果として正しい処置を受けることができる。
	教室	家族、日課、趣味などの個人的なトピックについて、(必ずしも正確ではないが)なじみのある表現や基礎的な文を使って、質問したり、質問に答えたりすることができる。	スポーツや食べ物の好き嫌いなどのとてもなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、与えられた表現の文を使って、簡単な意見交換をすることができる。	基本的な語や言い回しを使って、人を誘ったり、誘いを受れたり、断ったりすることができる。	身近な話題(趣味・学校生活)であれば、英語で意見の交換ができる。	身近な話題に関するプレゼンテーションを聞いて、内容について質問できる。	個人的に關心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を多様に用いて、社交的な会話を続けることができる。	社会性の高い幅広い話題についてやりとりをすることができる。社会的な話題や時事問題について、質問したり自分の考えを述べたりすることができる。
話すこと(発表)	日常	基礎的な語句、定型表現を用いて、限られた個人情報(家族や趣味など)を伝えることができる。	前もって発話する内容を用意した上で、身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句、および構文を用い、意見を言うことができる。	前もって発話する内容を用意した上で、身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句、および構文を用い、複数の文で意見を言うことができる。	一連の簡単な語句や文を使って、自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。	写真や絵、地図などの視覚的補助を利用して、一連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生活に直接関連のあるトピック(自分のこと、学校のこと、地域のことなど)について、短いスピーチをすることができる。	使える語句や表現を繋いで、自分の経験や夢、希望を順序だてて、話しを広げながら、ある程度詳しく語るることができる。	短い読み物か短い新聞記事であれば、ある程度の流暢さをもって、自分の感想や考えを加えながら、あらすじや要点を順序だてて伝えることができる。
	教室	前もって話すことを用意した上で、基礎的な語句、定型表現を用いて、人前で実物などを見せながらその物を説明することができる。	教科書の内容を、concept-mapを用いて、自分の言葉で伝えることができる。【Retelling】	教科書の内容についての、自分の意見や考えを自分の言葉で伝えることができる。	身近な話題(趣味・学校生活)について簡単なプレゼンテーションをすることができる。	自分が見聞きしたものについて、自分の考えや感想を述べることができる。	自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に關心のある事柄について、即興でキーワードを使って論理的に語るることができる。	自分の関心事であれば、社会の状況(ただし自分の関心事)について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表し、聴衆から質問ができれば、即興で論理的に相手に理解できるように答えることができる。
	レベル	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2
書くこと	日常	住所・氏名・職業などの項目がある表を埋めることができる。	簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと(好き嫌い、家族、学校生活など)について短い文章を書くことができる。	教科書の内容を、concept-mapを用いて、自分の言葉で書きかえることができる。	日常的・個人的な内容であれば、招待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる。	身の回りの出来事や趣味、場所、仕待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどに直接必要のある領域での事柄であれば、簡単な描写ができる。	自分に直接関わりのある環境(学校、職場、地域など)での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法を用いて、ある程度まとまりのあるかたちで、描写することができる。	社説や論文など社会的な話題に関する雑誌記事や新聞記事の要約を書くことができる。
	教室	自分について基本的な情報(名前、住所、家族など)を辞書を使えば短い句または文で書くことができる。	英文の内容に関する英問英答においてYes/NoだけでなくSVのある文で答えを書くことができる。	趣味や好き嫌いについて複数の文を用いて、簡単な語や基礎的な表現を使って書くことができる。	身近な話題(趣味・学校生活)について、理由を示しながら賛成・反対の意見を書くことができる。	自分の考えや感想をディスコースマーカ―を適切に用いて、論理的な英文を用いて書くことができる。	身近な状況で使われる語彙・文法を用いれば、筋道を立てて、作業の手順などを示す説明文を書くことができる。	環境問題など社会的な話題について自分の意見をまとまりのある文章で書くことができる。